

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2016年度（財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定により運営する。

2. 招集について

①招集場所は補助競技場入口付近とする。

②招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし下記のように定める。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	競技開始25分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始30分前
棒 高 跳	競技開始50分前	競技開始40分前

③2種目に出場し、競技時間や招集時間がかさなっている場合は、あらかじめ本人が文書を添えて申し出ること。

用紙は競技者係に準備される。（競技者係はその旨を流しプロに記載し連携を図る）

④競技者は招集開始時刻に招集所に集合し点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ（走高跳は12m以下、その他は9m以下、先端が鋭利なものは不可）・衣類および競技場内への持込物品等の点検を受けたあと、係員の指示で入場する。

⑤招集完了時刻に遅れた選手は当該種目を棄権したものとして処理する。

3. 競技運営について

①トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。

②トラック競技のスタートについては『イングリッシュコマンド、不正スタートをした者は1回で失格』とする。

③トラック競技のスタートにおいて「オン ユア マークス」、または「セット」の合図の後での不適切な行為、不正スタートについては競技規則162条⑤を適用する。

④リレー競技のマーカーは1箇所とし、各自で準備した粘着テープ等を使用する。（競技規則第170条⑪）

なお、使用したマーカーは前走者が撤去すること。

⑤リレーチームの編成（オーダー用紙提出）は、招集開始時刻1時間前までに記録室に提出する。

⑥競技場内での助力については禁止とする。（他は競技規則144条②を適用する。）

⑦短距離走では、競技者の安全のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。

⑧競技前の跳躍・投擲練習は、競技役員の指示によって行うこと。

⑨2種目以上の競技に同時に出場するときは、審判長の判断で、フィールド競技については1ラウンドに一度、（走高跳・棒高跳については各試技に一度）試技順を変更して出場することができる。

⑩フィールド競技のマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）は、2個まで置くことができる。このようなマーカーが準備されない場合は粘着テープを使用してもよい。（競技規則180条③）

⑪ウォーミングアップは全て補助競技場で行うこと。補助競技場での投てき練習は、コーンで仕切られた投てき練習場所のみとする。（8時45分まではトラックでのウォーミングアップを許可する）

⑫バーの上げ方は次の通りとする。

男子走高跳 1m30 練習 1m35 ～1m70 まで 5cm ずつ 1m73 以上 3cm ずつ

女子走高跳 1m15 練習 1m20 ～1m45 まで 5cm ずつ 1m48 以上 3cm ずつ

男子棒高跳 2m00 練習 2m00 ～2m60 まで 20cm ずつ 2m70 以上 10cm ずつ

⑬競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外は全て主催者が用意したものを使用しなければならない。

また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいない。

⑭フィールド種目については3回の計測を行う。ただし、2回目以降の記録が1回目の記録に達しない場合は計測しないことがある。

4. その他

①選手は南北出入口を使用するとともに、本部前の通行は禁止する。

②競技の応援は全てスタンドから行うこと。スタンド前部の柵に立ったり座ったりしての応援は禁止する。また、選手のメインスタンドからの応援は禁止する。

③勝手に公園外に出たり、他校生とのトラブルになるような行為は厳禁。その他マナーの悪い行動は慎むこと。

④ゴミは各自が各校で持ち帰ること。

⑤不審者や不審な行為を見つけた場合はすみやかに近くの競技役員に連絡すること。